

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	コンビニ（エリア担当）	・大型滞在型ホテル、大型デューティーフリーショップの開業と、観光客誘致の材料はそろっている。テロの心配はぬぐえないが、観光客数はまだまだ増加する。	
		衣料品専門店（経営者）	・徐々にだが販売単価が上がってきており、販売量が増加すれば、売上も増加し、良くなる。	
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・夏場に向け観光客の来県はピークを迎え、スーパーなど新しい店の出店等県内の経済にも活力がみられる。	
		観光型ホテル（商品企画担当）	・来月の稼働率は昨年並みを見込んでいるが、ゴールデンウィークの日取りの良さの影響で単価の上昇が見込める。6月の予約に関しては、現時点で昨年の106%となっており、昨年より動きが速くなっている。	
		観光型ホテル（営業担当）	・予約の状況は前年同月比で良い数値となっている。エージェントと当社の市場観が一致しており、商品や価格の交渉が多くなっている。	
		旅行代理店（経営者）	・景気の上向きとともに、熟年層を中心に旅行需要が大分活発化してきている。	
		住宅販売会社（経営者）	・実質的な工事の受注は減少しているが、社会全体に明るさが見え、活気が戻ってきたように感じる。	
		住宅販売会社（従業員）	・住宅取得の需要がここしばらくは好転する。しかし、一部資材単価の値上がりも出ており、価格への転嫁が心配される。	
	変わらない		百貨店（担当者）	・回復傾向にあるが、一部天候不順や消費動向の変化が懸念される。天候においては首都圏が既に夏日であることから衣料品関連が地方に回らず首都圏中心に先出されるおそれがあること。また5月の大きなモチベーションである母の日の動向が外食へとシフトしていることから、従来型のギフト需要は単価の低下とあわせて苦戦する。ただし長期的には8月のオリンピック始め消費をけん引する要素があることから、現在の景況は維持される。
			スーパー（経営者）	・買上数でみると前年同月を上回っているが、客単価は依然厳しい状況にあり、しばらくはこのような状況が続く。
コンビニ（エリア担当）			・長期間の断水、SARSの再発、大型テロの発生等の大きな外的変化がなければ、現在の好調さはしばらく続く。ただし、大型、中型のスーパーマーケットの出店が今後も活発化すれば、小売関連の競争は激化する。	
家電量販店（副店長）			・夏場に向けて季節関係商品等、また、オリンピックの影響でAV商品がある程度動くが、競合店との競争激化により客単価は低下する。	
その他飲食〔居酒屋〕（経営者）			・来客数は増えつつあるが低価格店に集中しており、内容重視でも、単価設定が高い店舗は、評判は良いものの来客数が伸び悩んでいる。	
観光名所（職員）			・現在の沖縄は各種世論調査でも好意的に国民に受け入れられていると聞いている。この状況が続く限り、沖縄への入域観光客数は増加を維持する。	
ゴルフ場（経営者）			・現在の状況では、相変わらず低単価による営業努力で集客を図らなければならないというのが現状である。	
やや悪くなる	-	-		
悪くなる	商店街（代表者）	・大型店の場合は競争力あり、販売促進などの手が打てるが、商店街の個々の経営者の場合はなかなかまとまりがつかず、集客及びサービスに動いてくれないというネックがある。また、今後、大型店同士の競争激化が予想されることから、中心部からの客が日々、周辺部の大型店に取られるように懸念している。		
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	輸送業（総務担当）	・本土の荷主が増える予定であり、そのために受注量の増加が見込まれる。	
		通信業（営業担当）	・受注した大型案件が、夏ごろから随時開通するため、売上自体は増加となる。ただし、投資額も大きいので利益率はかなり低い。	
	変わらない	建設業（経営者）	・契約件数は増えているが、一件当たりの単価が低いことから、先は、まだ分からない。	
		不動産業（支店長）	・景気回復の兆しが見当たらない。	
	やや悪くなる	-	-	

雇用 関連	悪くなる	-	-
	良くなる	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・観光関連の来客数が増加し、スーパー、コンビニなどのリ ニューアル及び新店舗オープンや、建築関連のリフォームな どが活発になっているとの声が聞かれることから、これらの 好景況による影響が雇用にも好要因となる。
	やや良くなる	人材派遣会社(経営 者)	・新年度に入り、具体的な動きが出てきている。企業側は景 気の流れに沿って、非常に積極的な展開をするのではという 期待感から、今後良くなる。
		人材派遣会社(営業担 当)	・夏場に向けて実際の求人数等は現在よりも落ち込むことが 予想されるが、ここ最近の求人数やその内容を見ても、前年 同期を上回る様子がうかがえる。
		学校[専門学校](就 職担当) 学校[大学](就職担 当)	・堅調な観光客数増加の動きが後押しとなり、雇用の増加が 期待される。 ・ゴールデンウィークを迎え、観光業界は更に上向き傾向に あり、他の業界にも相乗効果が期待できることから、雇用の 増加が期待される。また、本土大手企業の採用増加が見込ま れることから、雇用環境も良くなりつつある。
	変わらない	職業安定所(職員)	・3月の新規求人数は、前年同月比で42.9%増となっ ており、特に県外希望の求職者は56.3%の大幅な増加となっ ている。また、新規大学卒の無業者層が増加傾向にあり、3 月の有効求職者は前年同月比11.6%増加しており、特に前 年同月比で3か月連続で増加するなど、求職者が滞留し、 いったん離職すると再就職が厳しい状況となっている。上記 のことから、雇用情勢は依然厳しい状況が続いている。
やや悪くなる	-	-	
悪くなる	-	-	